

平成30年度第2次あげお子ども読書プランの実施状況について

1 あげお子ども読書プランの背景

あげお子ども読書プラン（上尾市子どもの読書活動推進計画）は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成23年度に策定されました。「読み聞かせのまち あげお」の実現を掲げ、家庭・地域・学校が連携して社会全体で子どもの読書活動を推進することを目的とした計画となります。

平成28年度からは、市全体でさらに充実・発展を図るべく、令和2年度までの5年間で計画期間とする第2次あげお子ども読書プランが進行しています。

★基本方針

読み聞かせのまち あげお ～生涯を通じて本に親しむ礎をきづきます～

- 1 子どもが読書に親しむための推進体制の整備
- 2 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
- 3 子どもの読書活動に関する情報提供の充実

2 子どもの読書活動支援センター

子どもの読書活動支援センターは、「読み聞かせのまち あげお」の実現に向け、平成24年7月に富士見小学校内に開設されました。家庭、地域、学校と図書館の連携を推進する役割を担っており、上尾で本好きな子どもを育てていくために、子どもと本の出会いを応援し、生涯を通じて本に親しむ礎を築いていけるよう支援しています。

3 主な取組内容と実施状況等

(1) 主な取組内容

①家庭との連携

- ・保護者の絵本の相談に答える「おやこでえほんサロン」の開催
- ・子ども向けの読書イベントの定期開催
- ・読書パスポート、えほんのきろくの利用向上

②地域との連携

- ・地域の読書普及活動の担い手となる読み聞かせボランティアの育成や派遣

③学校との連携

- ・市内の小学生に配布する読書パスポートの活用推進及び支援
- ・司書教諭等への読み聞かせや図書館づくりのアドバイス
- ・図書館支援員への助言、研修会への講師派遣
- ・小・中学校や平方幼稚園、市立保育所に対して、本の巡回貸出「あっぴいぶっくる本」の実施

(2) 実施状況

別紙の実施状況表のとおり、家庭、地域、学校と図書館と連携するとともに、関係機関と協力し、子供の読書環境を整えています。

☆読書パスポートとは

図書館事業のセカンドブックスタート事業として、小学校入学児童を対象に、各クラスでおはなし会を行いながら、読書手帳である読書パスポートと併せイラスト入り図書館利用カードを配布しています。「読書パスポート」は図書館の利用のしかたや、調べ学習のしかた、年齢ごとのおすすめの本などをストーリー仕立てで紹介しています。また、おはなし会などイベントに参加するとスタンプをもらえるスタンプラリーのページがあるなど、300冊の読書記録を記入することができます。児童が興味をもって図書館を利用できるような仕掛けとなった手帳です。

さらに、300冊の本を読み終わると達成した証として校長や図書館長から証明をもらえるとともに、新たに別冊を提供できる仕組みとなっています。

- ・家庭では、わが子の6年間の読書記録をもとに、親子で本について会話できる
- ・図書館事業、図書館まつり、地域のボランティアのおはなし会など、地域が協力してパスポートを活用できる機会を提供
- ・学校では、図書館と学校が協力し、「読書パスポートコンクール」を開催し、「読書パスポート」を活用して読書活動を進めた児童を表彰

☆本の巡回貸出「あっぴいぶつくる本」とは

市内の園児や児童生徒に読書に親しんでもらうために、図書館が薦める「読み物セット」を2か月おきにローテーションで貸し出しする事業です。その内容は、小学校90冊、中学校30冊、平方幼稚園30冊、市立保育所30冊を巡回貸し出しております。子どもが手に取りやすい本や図書館として読んでほしい本を組み合わせたり、例えば、「虫」「電車」などのテーマを決め、科学絵本など幅広いジャンルの読み物を集めているため、読書意欲を掻き立てる効果があります。学校では、この本を利用することにより図書の充実が図れております。

早い時期にできるだけ良い本にふれてもらうため、支援センターが読んでほしい本を選び、勧める理由を書いた図書リストとともにお届けしています。